

城山学園便り(1・2月号)

平成25年2月17日(日)

編集・発行元 社会福祉法人 育友会
障害者支援施設 城山学園

「クリスマス会」

昨年十二月二十四日に城山学園クリスマス会を行いました。私共もそうですが、皆さんにとって一年の中で一番楽しみにしている行事ではないでしょうか。クリスマス会では、利用者さん、職員さん、生活支援員さん、そしてご家族の方など、多くの方々が集まり、楽しい時間を過ごしました。クリスマス会では、利用者さん、職員さん、生活支援員さん、そしてご家族の方など、多くの方々が集まり、楽しい時間を過ごしました。クリスマス会では、利用者さん、職員さん、生活支援員さん、そしてご家族の方など、多くの方々が集まり、楽しい時間を過ごしました。

生活支援員

丸山誠志郎

「平成二十四年度冬季外出」

昨年十二月二十四日に城山学園クリスマス会を行いました。私共もそうですが、皆さんにとって一年の中で一番楽しみにしている行事ではないでしょうか。クリスマス会では、利用者さん、職員さん、生活支援員さん、そしてご家族の方など、多くの方々が集まり、楽しい時間を過ごしました。クリスマス会では、利用者さん、職員さん、生活支援員さん、そしてご家族の方など、多くの方々が集まり、楽しい時間を過ごしました。

生活支援員 丸山誠志郎



私が、ここで働かせて頂くようになってから半年が過ぎました。遅い
うで早いようなそんな半年でした。
今回、リレートークを書くにあたって何を書けばいいのかわり、
先輩方に「何でもいいんだよ」とアドバイスをもらいながら書いていま
す。仕事を始めた最初の頃は先輩に付きつきりて教えてもらっていま
が、最近はやつと一人で仕事をさせて頂くようになりました。でも、一人
で完全に仕事をこなしているのか不安な毎日です。先輩から教わった中
分が一番に感じたことは、自分の失敗が利用者の方に迷惑を掛けること
繋がるということでした。なので私はこの言葉をいつも胸に、緊張を持
て仕事をこなさなければならぬと感じています。利用者の方や職員の皆
さんに安心して仕事を任せて頂くことが出来るようにこれから頑張り
と思つていきます。また、仕事をする中で考えることはチームワークと
ことです。失敗して落ち込んでしまうことは、これからは励まされ
ることとおさうな頑張りとうちの気持ちになり、周りの人の大切さに
思えます。今の私に出来ること、何かを考えながら少しづつ前に進
れかいます。まだまだ皆様にも迷惑をお掛けすること多いと思いま
す。

事務員 中村 優美

二月四日午後から節分会を行いました。今年には利用者皆さんに鬼の面の色塗りを行つてもらい、鬼の面を作製しました。デイルーム近くの掲示板に貼り出してありますのでぜひご覧ください。

また、鬼の面も自分たちで貼つていただきました。豆まきでは自分の厄を払う意味で、作製した鬼の面達に向かつて豆をまきました。そして福が訪れるように施設内にも豆をまきました。豆まきの際は皆さん大きな声で「鬼は外」、「福は内」と言い多くの豆をまいていました。もちろん私も豆まきに参加させていただき、大きな声で「鬼は外」、「福は内」と言い豆をまきました。

利用者の皆さんも私も今回の豆まきで、しつかりと厄を追いつけ、福を招き入れる事ができたのではないかと信じています。

生活支援員 丸山誠志郎



1月はタンドリーチキンと魚の竜田揚げでした。
結果は・・・

魚の竜田揚げ
11名



「第五回城山学園風揚げ大会」
一月十九日（土）に第五回城山学園
風揚げ大会を開催いたしました。会場
は旧垂水南中学校で行い、昨年に引き
続き感染症などなく無事に開催する事
ができました。大会には終原・新城地
区の小学生や新城保育園の園児も参加
しました。利用者は体育館で風を作りま
した。利用者の方は思い思いに好きな
絵を風を描いていました。
出来上がる校庭に出て風を揚げま
した。当日は天気も良く、灰も降らず
風の状態も最高！絶好の風揚げ日和で
した。利用者の方も元気がよく走り、高
く風を揚げたり、走り、高く利用
者の方は手元の糸が無くなるまで高く
風を揚げることが出来ました。ポ
ランティアの方や保育園の園児、小学
生とふれあいの笑顔がとて印象的な良
利用者の方でした。

生活支援員 岩元 克憲



22日 平成25年度（4月～3月）垂水中央運動公園
行事調整会
23日 育友会理事会・評議員会
27日 第1回福祉の現場から私たちの提言

1日 垂水高等学校第65回卒業式
5日 障害者施設経営セミナー
6日～7日 平成24年度部会協議会
14日 県知の障害者福祉協会の理事会・各種別部会

ダスキン様
野田様
田中様
大興寺様

山元様
渡辺様
川崎様
米山様